

杉田地区

どんど焼きと丸塚の道祖神

小正月である1月15日頃、市内各地では、一年間の災いを払うためにどんど焼き(ドンドン焼き)が行われます。どんど焼きは、年神様を見送り、五穀豊穡や無病息災などを祈る行事です。ほとんどの地域では、道祖神※1の前で行われていました。一部の地域では、神聖な火の力で浄化するために道祖神を火に投げ入れたり、正月飾りや木、竹などを積み上げてヤマを作ったり、道祖神の依り代※2としてヤナギやハナと呼ばれる飾りを立てました。

どんど焼きでは、「三本槍に刺した団子を食べると病気にならない」、「燃え残りの松や竹を屋根に投げると火事にならない」などといわれています。



どんど焼きのヤマ(内房)



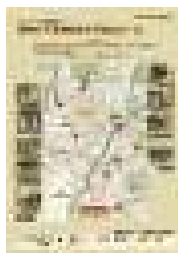
どんど焼き



歩く博物館 Lコース<杉田地区> 狸寺と子安神社をたずねるコース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



丸塚の双体道祖神

丸塚にある山之神社の北側には、地名の由来である丸い自然石の横に双体道祖神が祀られています。

丸塚のどんど焼きでは、竹を割ってその先を柳のように垂らし、色紙で作った飾りを付けた「ハナ」を立て、「奉納道祖神」の幟を付けます。

※1 道路が交差するところや集落の境などにあり、外からくる疫病や悪霊から人々を守るために祀られたもの

※2 神様が来るところ



丸塚の道祖神



丸塚の飾り(ハナ)と幟

歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

料 500円

申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で

他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。

問 文化課 ☎22-1187

✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック

